

I 第35週の発生動向 (2016/8/29~2016/9/4)

1. 警報・注意報は、発令されていません。
2. ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所、上十三保健所管内を除く保健所管内において患者報告数が増加しました。
3. RSウイルス感染症については、すべての保健所管内で患者報告数が増加しました。
4. 東地方+青森市保健所管内では、伝染性紅斑の患者報告数が増加傾向です。

II 第35週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ															0
小児科	RSウイルス感染症															22
	咽頭結膜熱															-7
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎															7
	感染性胃腸炎															1
	水痘															-3
	手足口病															4
	伝染性紅斑															4
	突発性発しん															7
	百日咳															4
	ヘルパンギーナ															13
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															1
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															1
	マイコプラズマ肺炎															1
	無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

III 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患): 八戸2人、五所川原1人 (2016年計:194人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 五所川原1人 (2016年計:86人)

IV 病原体検出情報

検出情報はありませんでした。

感染症の窓

流行性角結膜炎 (五類定点把握疾患)

流行性角結膜炎は、アデノウイルス8、19、37型などによる眼の感染症です。感染力が強く8~14日の潜伏期間の後、急に結膜が充血し、まぶたが腫れたり涙がたくさん出るなどの症状を伴います。

発病後2~3週間で治癒することが多いですが、新生児や乳幼児では結膜の表面に炎症性の膜ができる偽膜性結膜炎を起こし、細菌の混合感染で角膜に孔があいてしまう場合があります。注意が必要です。

年間を通して患者報告があり、青森県内では2016年第1週~第34週までの患者報告数は週当たり平均4.97人で、昨年とほぼ同様の患者報告数となっていました。

ウイルスが含まれる涙や目やにで汚染された指やタオル類との接触により感染します。予防のためには、患者の目やに等の取り扱いに注意し、取扱い後は、手洗いや消毒をきちんと行うことが大切です。



図: アデノウイルス8型による結膜炎 (青木功喜先生撮影) (出典: 国立感染症研究所)

【参考】国立感染症研究所 HP

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第26週～2016年第35週）

(人)

人	期 間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
26	H28.6.27 ~ H28.7.3					レジオネラ症1人	
27	H28.7.4 ~ H28.7.10		梅毒1人			水痘(入院例)1人	
28	H28.7.11 ~ H28.7.17		クロイツフェルト・ヤ コブ病1人				
29	H28.7.18 ~ H28.7.24	カルバベネム耐性 腸内細菌感染症1 人	E型肝炎1人	梅毒1人			
30	H28.7.25 ~ H28.7.31		つつが虫病1人				水痘(入院例)1人
31	H28.8.1 ~ H28.8.7	侵襲性肺炎球菌感 染症2人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 梅毒1人			
32	H28.8.8 ~ H28.8.14			腸管出血性大腸菌 感染症3人	クロイツフェルト・ヤ コブ病1人		
33	H28.8.15 ~ H28.8.21	後天性免疫不全症 候群1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症65人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症2人	
34	H28.8.22 ~ H28.8.28	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症10人			
35	H28.8.29 ~ H28.9.4				腸管出血性大腸菌 感染症1人		

VI 結核(二類全数把握疾患) (2016年第26週～2016年第35週)

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
26	H28.6.27 ~ H28.7.3	1	3	4		1	
27	H28.7.4 ~ H28.7.10	1	3	1	2	2	
28	H28.7.11 ~ H28.7.17	2	1		2	1	
29	H28.7.18 ~ H28.7.24		4	2	2		
30	H28.7.25 ~ H28.7.31	1	1	1	2	1	
31	H28.8.1 ~ H28.8.7	2	1				
32	H28.8.8 ~ H28.8.14	2					
33	H28.8.15 ~ H28.8.21		3	1	1		
34	H28.8.22 ~ H28.8.28		1		1	1	3
35	H28.8.29 ~ H28.9.4			2	1		

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第34週累計)

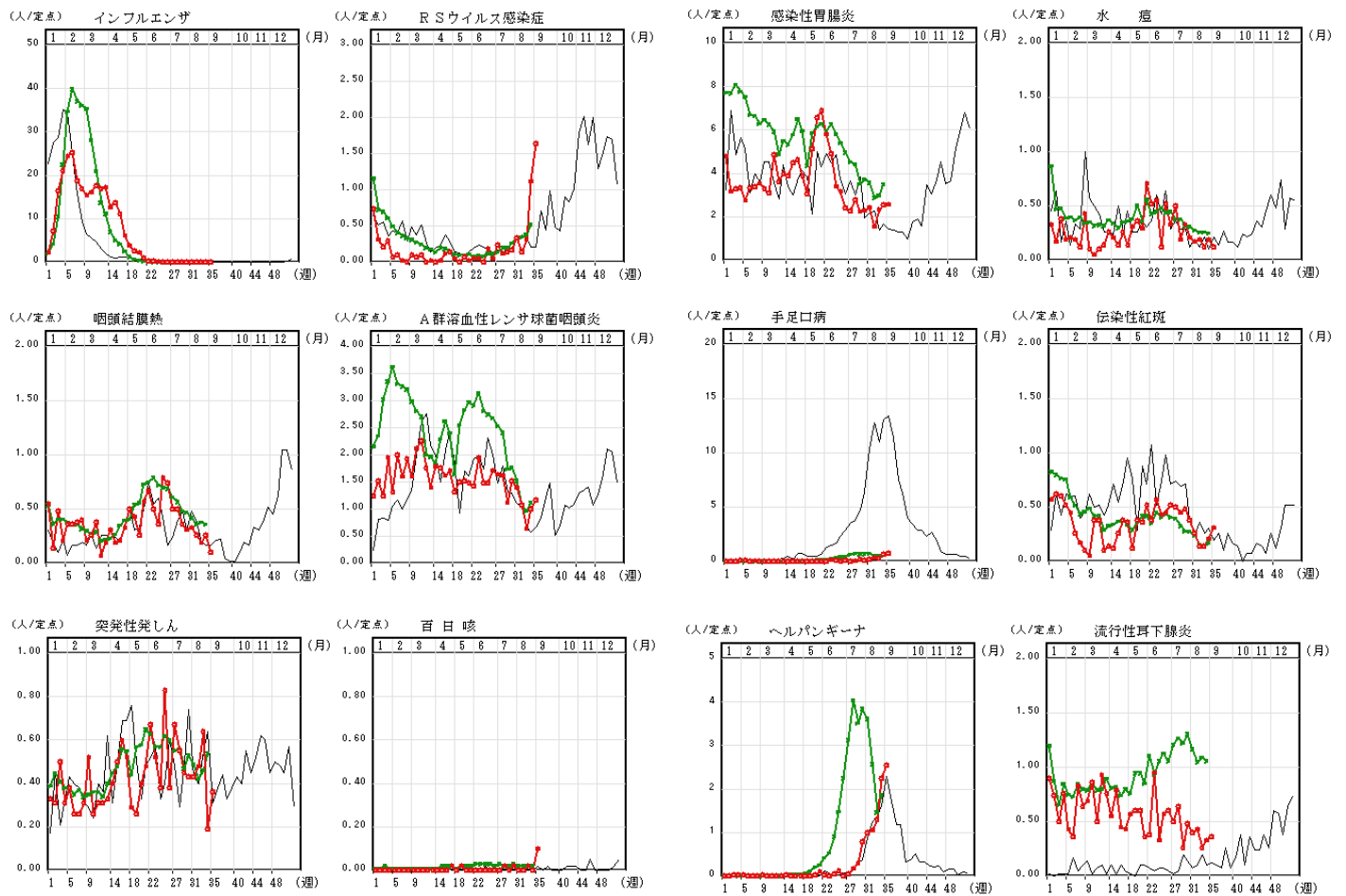
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌感 染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコク ス症	オウム病	回帰熱	コクシジイ デス症	ジカウイルス 感染症	重症熱性血 小板減少症 候群	ダニ媒介脳 炎
累積報告数	15582	3	88	2116	31	11	277	209	14	4	6	3	7	39	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	テングニア 熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピ ラ症	アメーバ赤 痢	ウイルス性 肝炎	カルバベネ ム耐性腸内 細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポ リジウム症
累積報告数	6	90	223	129	1	3	33	5	895	21	757	177	929	558	6
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェ ルト・ヤコ ブ病	劇症型溶血 性レンサ球 菌感染症	後天性免疫 不全症候群	ジアルジア 症	侵襲性イン フルエンザ 菌感染症	侵襲性髄膜 炎感染症	侵襲性肺炎 球菌感染症	水痘(入院 例)	梅毒	播種性クリ プトコクス 症	破傷風	バンコマイ シン耐性腸 球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性ア シネトバク ター感染症
累積報告数	117	344	927	44	218	29	1818	201	2802	81	76	34	94	40	23

青森県 (2016年第1週～第35週累計)

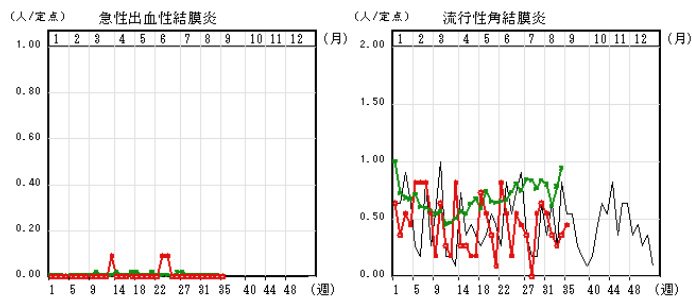
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性 大腸菌感 染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤 痢	カルバベネ ム耐性腸内 細菌感染症	クリプトスポ リジウム症	クロイツフェ ルト・ヤコ ブ病	劇症型溶血 性レンサ球 菌感染症	後天性免疫 不全症候群	侵襲性肺炎 球菌感染症	水痘(入院 例)	梅毒
累積報告数	194	86	5	3	1	5	3	2	9	1	3	3	2	7	3	10

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第35週、ただし全国は前週)

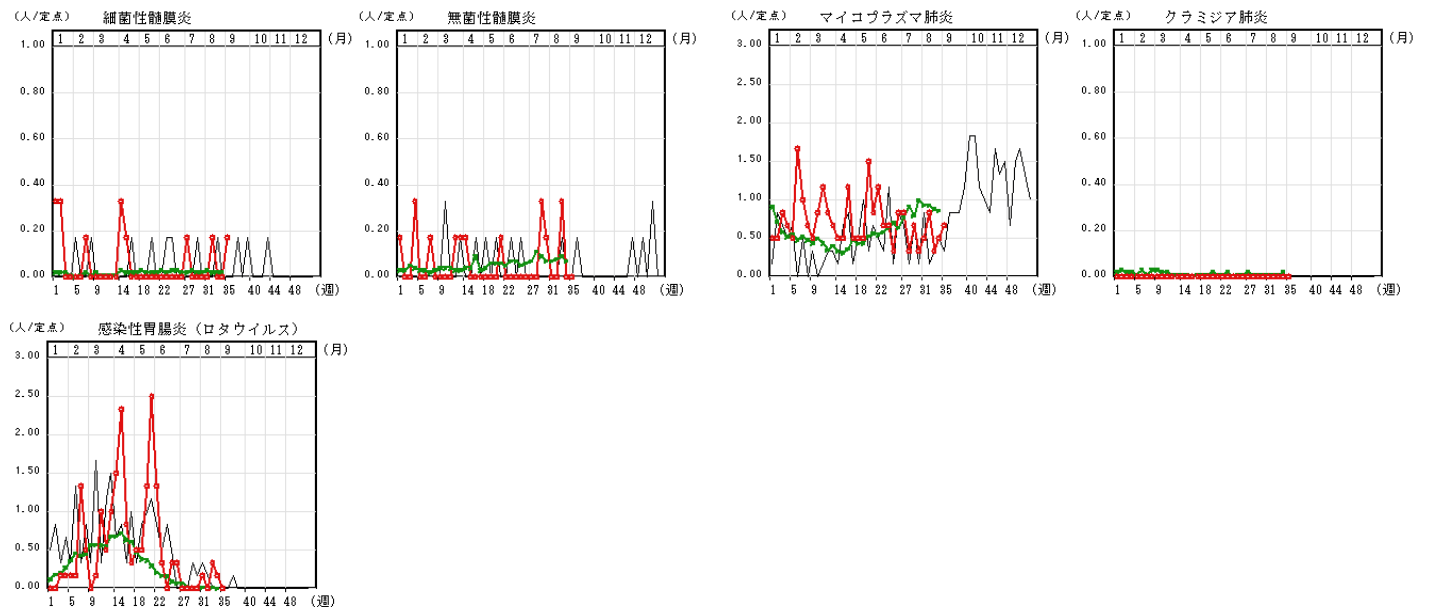
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第35週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第35週、ただし全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第35週
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別		月(週)									計 (施設別)
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-12週	4月 13-16週	5月 17-21週	6月 22-25週	7月 26-30週	8月 31-34週	9月 35週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	308